

## ネイティブアスペルギルス・ニガー・ペクチナーゼ

Cat. No. NATE-0535

Lot. No. (See product label)

## はじめに

□明 選□されたアスペルギルス・ニガー株から製造されたペクトリティック酵素製剤: 主にペクチ

ン転移酵素、ポリガラクツロン酸酵素、ペクチンエステラーゼを含み、少量のヘミセルラーゼ およびセルラーゼを含んでいます。ペクチナーゼは細胞壁の成分であるペクチンを加水分解し ます。メチルエステル化されたペクチンまたは脱エステル化されたペクチンを攻 $\Box$ する可能性 があります。これはペクチナーゼ活性の供給源であり、セルラーゼおよびヘミセルラーゼ活性 も含んでいます。ペクチナーゼは、ペクチンおよび他のガラクツロン酸のa-(1-4)-Dガラクト

シドウロン酸結合のランダムな加水分解を触媒します。

**用途** 植物の原形質体調製に使用され、細胞壁を消化して小器官の分離を行う前に使用されます。ペ

クチナーゼは、アスペルギルス・ニガーから得られる酵素で、植物の原形質体調製に使用され、細胞壁を消化して小器官の分離を行う前に使用されます。これは、糖の部分的な糖化を行うために使用されてきました。ペクチナーゼは、植物組織への植物病原体の侵入、農産物の腐敗、さまざまな食品加工および植物バイオテクノロジーの□用における役割を研究するために使用されます。この製品は植物細胞培養に適しており、水性グリセロール溶液で提供されま

す。

別名 ペクチナーゼ; ペクチンデポリメラーゼ; エンドポリガラクツロンナーゼ; ペクトラーゼ; ペク

チンヒドロラーゼ; ペクチンポリガラクツロンナーゼ; エンドポリガラクツロンナーゼ; ポリ- $\alpha$ -1,4-ガラクツロン酸グリカノヒドロラーゼ; エンドガラクツロンナーゼ; エンド-D-ガラクツロンナーゼ; ポリ(1,4- $\alpha$ -D-ガラクツロン酸)グリカノヒドロラーゼ; ポリガラクツロンナーゼ;

EC 3.2.1.15; 9032-75-1

製品情報

*由来* アスペルギルス・ニガー

**形態** 40%グリセロール溶液

**EC**番号 EC 3.2.1.15

*CAS*登□番号 9032-75-1

**活性** > 5 ユニット/mg タンパク質 (Lowry)

**単位定義** 1ユニットは、 $25^{\circ}$ CでpH 4.0の条件下でポリガラクツロン酸から $1.0\mu$ モルのガラクトロン酸

を1分あたり放出します。

保管・発送情報

*保存方法* 2-8°C